

単元名 **こそあど言葉を使いこなそう**配当時間 **2時間**

単元の目標 (1) 指示する語句の役割について理解することができる。
 (3) 指示する語句の役割を理解し、日常の読んだり書いたりする場面に当てはめ、使おうとする。

標準的な展開例

03010116_001

【教材名】こそあど言葉を使いこなそう (上 P. 88～P. 89)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1～2 「こそあど言葉」の働きや使い方を理解する。 ★「こそあど言葉」について知ろう。 ○教科書(P. 88)を読んで、「こそあど言葉」が日常でどのように使われているか発表する。 ○「こそあど言葉」の使い分けについて理解する。 ○「こそあど言葉」によって、文が簡潔に表現できることを理解する。 ○教科書(P. 89)下段の問題に取り組む。	・教科書(P. 88)上段の挿絵から日常で「こそあど言葉」が使われている場面を想起させる。 【評】日常で「こそあど言葉」がどのように使われているか考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・教科書(P. 88)の表を参考にし、相手との距離や目的などによって使い分けられていることを知らせる。 【評】「こそあど言葉」の使い分けを理解する活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・教科書(P. 89)上段の文章を例として示す。 【評】「こそあど言葉」を使い、文を簡潔にすることを理解する活動を通して、「知識・技能」を評価する。 【評】「こそあど言葉」が指す語句を見付ける問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】